

～転んでも、転んでも、また立ち上がる～

# 十勝・大樹町「地域バカ」 たちの挑戦！



2014/9/8

大樹チーズ & サーモングルメ地域活性化協議会  
事務局長 藤谷満伸

はじめに

**本日、お話をさせていただく内容は  
「成功体験談」ではありません。**

**数多くの「失敗体験談」と、  
いかにそれでも挫けずやってきたか  
というお話です。**

**どうか笑ってやってください(˘\_˘)**

## 自己紹介



ふじや みつのぶ  
**藤谷 満伸** (38歳)

- **生まれ：別海町、育ち：帯広市**
- **大樹町役場商工観光課  
商工観光係長**
- **3女の父**
- **趣味：アウトドア**

# ～大樹町について～

## 大樹町について

**「大樹町」って  
聞いたことがありますか？**

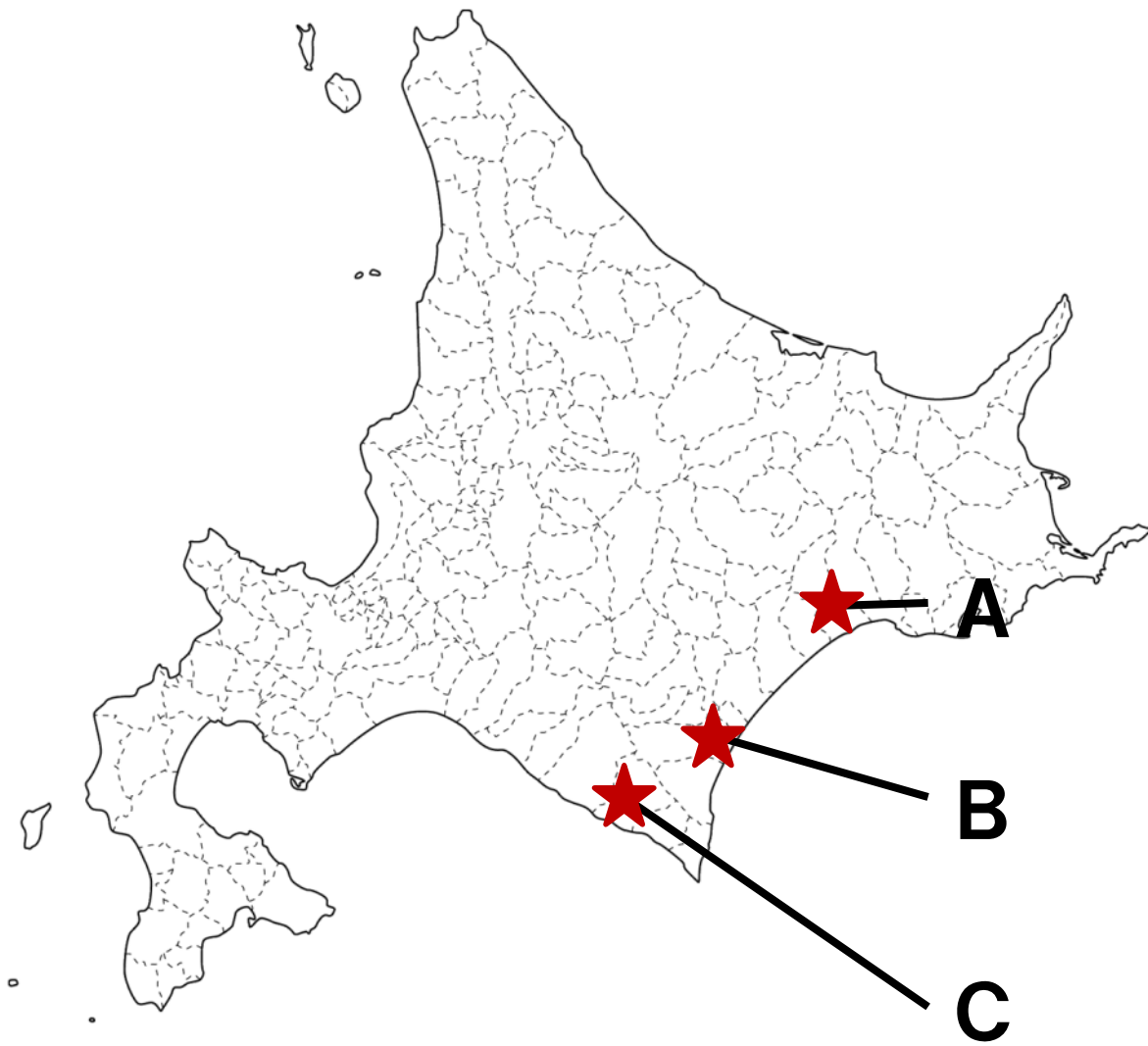
**(挙手をお願いします)**

## 大樹町について

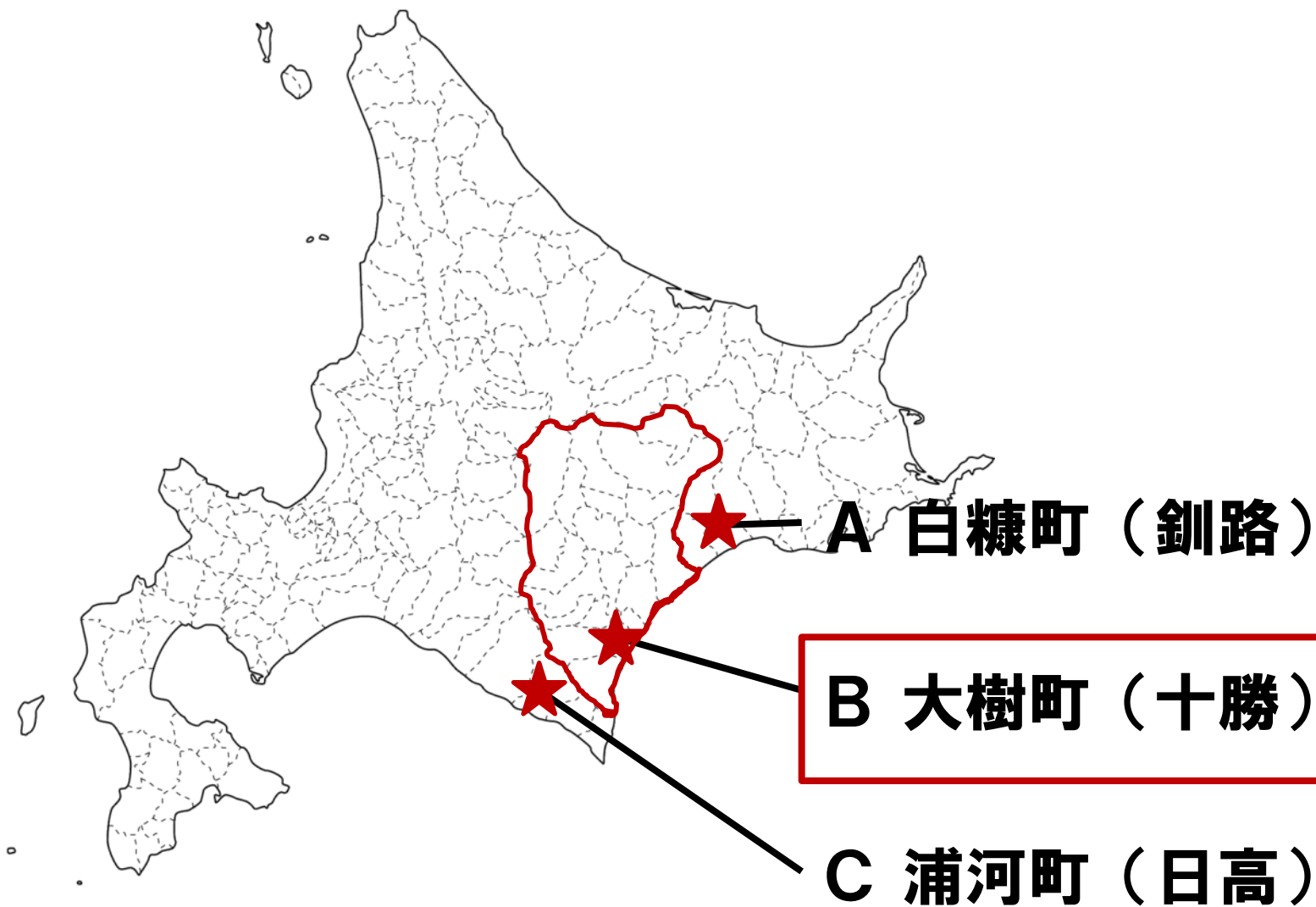
**「大樹町」の位置は  
正確に分かりますか？**

**(挙手をお願いします)**

# 大樹町について



# 大樹町について





## 大樹町について

**「大樹町」と聞いて  
何をイメージしますか？**

## 大樹町について



酪農のまち（人口の約4倍の牛）

# 大樹町について

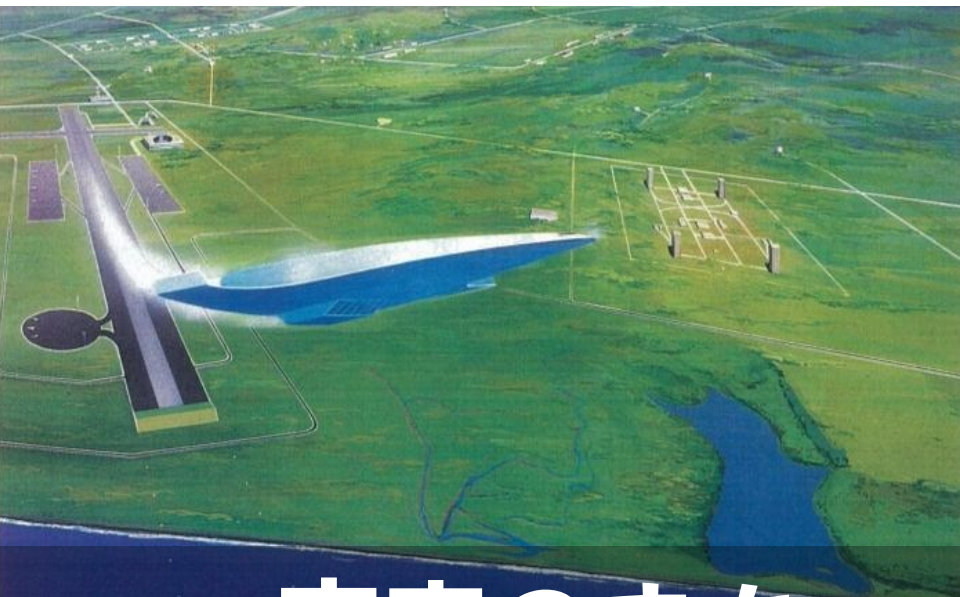


(写真: 雪印メグミルク(株)HPより)

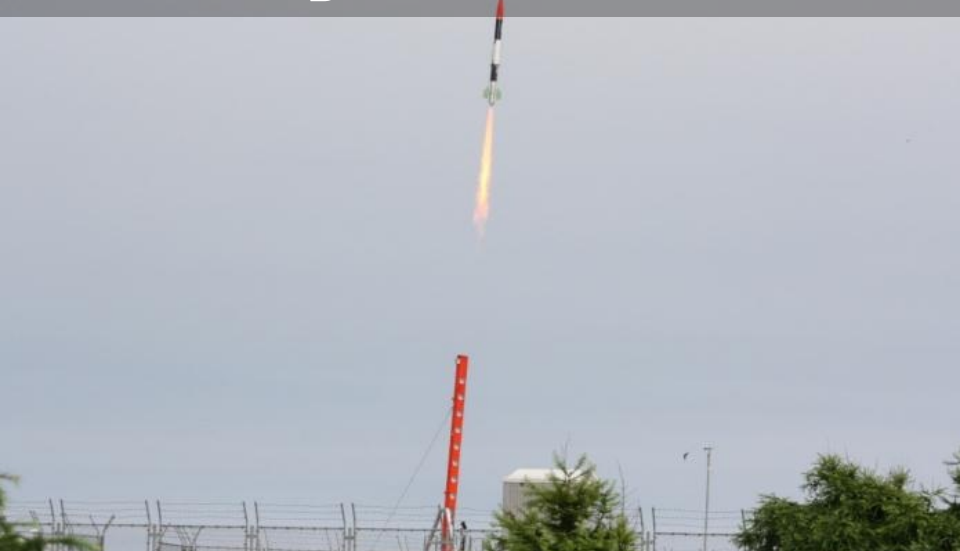
## 町で最大の雇用先である雪印メグミルク大樹工場

※主な製造品：さけるチーズ（プレーン）、カマンベール等

# 大樹町について



宇宙のまち（構想は約30年前から）



# エピソード1 ～大樹チーズサーモン丼～

## 大樹チーズサーモン丼について

**食べたことある人？**

**(挙手をお願いします)**

## 大樹チーズサーモン丼の開発エピソード



- 道庁派遣（H17-18）
- 十勝でも湧くご当地グルメ
- プロデューサー「ヒロ中田」  
との出会い

大樹チーズサーモン丼の開発エピソード

**失敗談**  
**～その1～**



## 失敗談～その1～

- **プロデューサーと地元飲食店との対立**
- **メニューがまとまらず、解散寸前。。**
- **プロデューサーからは  
「もう1年（デビューは）先延ばししたら？」**

## 失敗談～その1～




プロデューサーからとどめの一言

(チーズサーモン丼は)

「別海(町)で出すからいいよ。」

## 大樹チーズサーモン丼について

- 
- チーズとサーモン（鮭）を組み合わせた天井御膳
  - 開発期間：約1年
  - 飲食店：4店舗でスタート（現在は5店舗）
  - 道内のグルメイベントに積極的に参加（オータムフェストにもでます！）

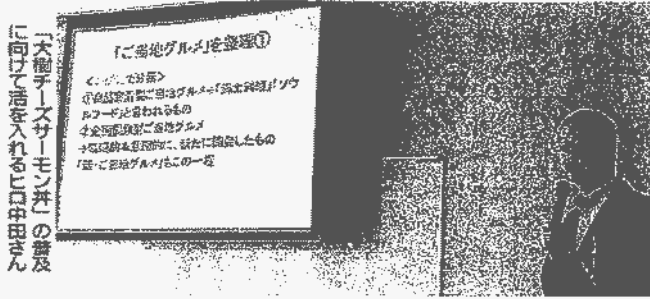
大樹チーズサーモン丼の開発エピソード

**失敗談**  
**～その2～**

# 失敗談～その2～

## 大樹の新・ご当地グルメ発売7カ月

【大樹】地域食材で町をPRする新・ご当地グルメ「大樹チーズサーモン丼」は発売開始から7カ月が経過した。販売店4店での提供食数は2500食。目標（4700食）にも届かず、7200～3万食の実績を残した同時期デビューの他グルメに大きく水をあけられた。1月30日には同グルメの開発に携わったヒロ中田さん（じゃらんリサーチセンターエグゼクティブプロデューサー）が来町し、愛称「チーモン丼」の活用など普及拡大策を提言した。



「大樹チーズサーモン丼」の普及に向けて活用されるヒロ中田さん

# チーズサーモン丼苦戦 販売目標大きく下回る

### 開発者の1人「普及への意識不足」奮起促す ヒロ中田さん

「大樹」は前旗で取れた秋鮭と生印メグミルグ大樹工場のもろみチーモン丼を使った5種類の天ぷらを載せた「天丼膳」（980円）が昨年10月、チーモン丼は昨年10月、普及拡大策の「大樹チーズサーモン丼」地域活性化協議会（1戸勉会長）も立ち上げた。

ただ、提供店は町内4店で、1日中販売しているのは1店のみ。ランチのみ1店、ディナーのみ2店と消費者がグルメを味わう機会が限られ、提供食数の増大につなげられなかった。

ヒロ中田さんは札幌の食イベントの際に1日間で3000食を販売した「売れる簡単丼」として存在感を示したにもかかわらず、地元で結果が残せていない現状を危惧、積極的に販路拡大を促している。

青森県黒川町（3万4000食）、空知管内秩父別町（7万2000食）の事例を紹介した。あえて「同期を越えよう」とはベネッセの同協議会が目標を設定した。

「大樹」は前旗で取れた秋鮭と生印メグミルグ大樹工場のもろみチーモン丼を使った5種類の天ぷらを載せた「天丼膳」（980円）が昨年10月、チーモン丼は昨年10月、普及拡大策の「大樹チーズサーモン丼」地域活性化協議会（1戸勉会長）も立ち上げた。

ただ、提供店は町内4店で、1日中販売しているのは1店のみ。ランチのみ1店、ディナーのみ2店と消費者がグルメを味わう機会が限られ、提供食数の増大につなげられなかった。

ヒロ中田さんは札幌の食イベントの際に1日間で3000食を販売した「売れる簡単丼」として存在感を示したにもかかわらず、地元で結果が残せていない現状を危惧、積極的に販路拡大を促している。

青森県黒川町（3万4000食）、空知管内秩父別町（7万2000食）の事例を紹介した。あえて「同期を越えよう」とはベネッセの同協議会が目標を設定した。

他グルメにあって大樹にはないものとして、①商品への自信と愛着のきめ細かな情報発信②販路拡大の活用③おもてなし意識④愛称の活用⑤「新・大樹」など活用⑥「新・大樹」など活用⑦「新・大樹」など活用⑧「新・大樹」など活用⑨「新・大樹」など活用⑩「新・大樹」など活用⑪「新・大樹」など活用⑫「新・大樹」など活用⑬「新・大樹」など活用⑭「新・大樹」など活用⑮「新・大樹」など活用⑯「新・大樹」など活用⑰「新・大樹」など活用⑱「新・大樹」など活用⑲「新・大樹」など活用⑳「新・大樹」など活用㉑「新・大樹」など活用㉒「新・大樹」など活用㉓「新・大樹」など活用㉔「新・大樹」など活用㉕「新・大樹」など活用㉖「新・大樹」など活用㉗「新・大樹」など活用㉘「新・大樹」など活用㉙「新・大樹」など活用㉚「新・大樹」など活用㉛「新・大樹」など活用㉜「新・大樹」など活用㉝「新・大樹」など活用㉞「新・大樹」など活用㉟「新・大樹」など活用㊱「新・大樹」など活用㊲「新・大樹」など活用㊳「新・大樹」など活用㊴「新・大樹」など活用㊵「新・大樹」など活用㊶「新・大樹」など活用㊷「新・大樹」など活用㊸「新・大樹」など活用㊹「新・大樹」など活用㊺「新・大樹」など活用

- 相次ぐ苦情  
(わざわざ大樹まで食べに来たのに閉店している・・・等)
- 伸び悩む食数
- 活躍する同期デビュー組  
(ちっぷべつ緑のナポリタン、深浦マグロステーキ丼)  
には、差をつけられて・・・

それでもめげずに...

# 「チーモン丼」の藤谷さん 新人賞

大樹 行動力と「地域愛」を評価



## 食による観光まちづくり表彰

「大樹」地域食材で町をPRする「新・当地グルメ」の開発・普及を願う団体でつくる「食による観光まちづくり推進協議会」(S・P・A・T)の今年度表彰で、昨年6月に大樹チーズサーモン丼(チーモン丼)をデビューさせた「大樹チーズ&サーモン」地域活性化協議会(二戸勉会長)の藤谷博伸事務局長(38)が、同年度に新加入した団体の中で最も活躍した人に贈られる「新人賞」に輝いた。同協会賞は十勝管内の団体で初めて。デビュー後の販売数が増える中で吉報は、同協議会と今年度の推進に向けて意欲を新たにしている。

20の西田、沖繩県うるま市で開かれた「フオーラム」総会に発表された。新人賞は「MVP」「準MVP」に続く個人3賞の一つで、藤谷さんは今年度デビューした全5団体の中から選ばれた。チーモン丼は、前旗で取れた秋サケと富印メグミルク大樹工場の「さけるチーモン」を使った「地域愛」を込めた天丼につけ揚げた。かたは、かたはの種類の「チーモン」が「チーモン」(200円)。

町職員や町商工会青年部員ら有志と飲食店が、全国で同グルメ開発に携わる「ロケット」(じやうけん)「チーモン」(チーモン)と創作した。藤谷さんはチーモン丼の開発当初から「天樹を元気にしたい」と協議会、飲食店、ヒロさんとの駆けつけとして奮闘。昨年9月に初参加した食の祭典「いっしょ」(イッショ)で5日間で1000食を販売した。地元での販売数は1月末現在で2500食。目標の5割は達成している。協議会として協議会の活動を支援する「行動力」とチーモン丼の普及に励む「地域愛」が評価された。

藤谷さんは「まさか選ばれるとは思わなかった。今年度は協議会賞と団体最高賞の「MVP」を取りたい」と笑顔。一戸会長も「今年度の活動に輝かされた」とやる気をみなぎらせている。(藤根弘貴)

(十勝毎日新聞:H26/3/17)

# 大樹チーズサーモン丼 V

ご当地グルメバトル  
3日間で1万9000人

帯広競馬場で31日に開かれた「OKACHI」ご当地グルメバトル(実行委員長)は、3日間で管内外から約1万9000人が来場し、管内各地の名物メニューを堪能した。優勝は大樹チーズサーモン丼だった。

十勝の食をPRするため昨年初開催された。今年度は第一回に比べ4倍多い117人が出場。天候にも恵まれ、来場者は昨年を約6000人上回った。実行委員の山本泰明委員長(民生志健商店社長)は「イベントはもちろん大事だが、各地域の人たちがグルメを通じて連携し、食で外からの人をもてなすことが十勝の力になる」とイベントの意義を語った。

来場者による人気投票で1位に選ばれた「大樹」

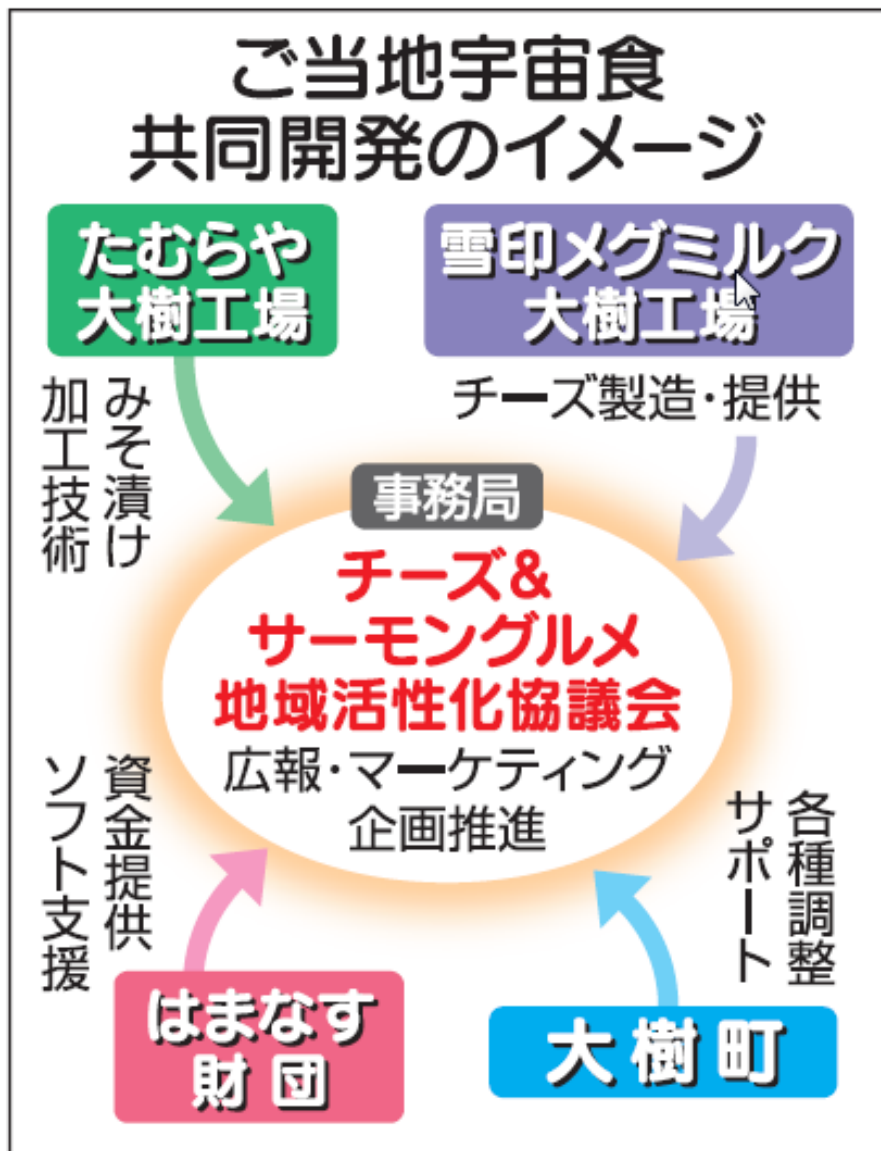
は、昨年6月、大樹市、大樹町、大樹町の三市町会の一戸勉会長の年目。さらに、同グルメの飲食店、おり、6月

(十勝毎日新聞:H26/5/7)



# エピソード2 ～ご当地宇宙食～

## ご当地宇宙食の開発エピソード



- はまなす財団「地域づくり活動発掘・支援事業」の公募
- JAXA「宇宙日本食」の公募
- 雪印メグミルク(株) (チーズ製造) と連携
- (株)たむらや (漬物加工) と連携



## 事務局(協議会)の役割

- **リーダーシップ (短期目標と長期目標設定)**
- **広報／マーケティング (周囲を巻き込み雰囲気を作る)**
- **リスクテイク (パートナーは営利企業)**

## 大樹版ご当地宇宙食の作り方

①さける  
チーズを  
輪切りに

②味噌に  
漬けて  
寝かす

③フリーズ  
ドライにする

④完成



## ついにテスト販売開始！

HOKKAIDO TAIKI  
**SPACE CHEESE**

「宇宙のまち」大樹産  
**スペースチーズ**

さけるチーズを、  
フリーズドライにしました。  
北海道産100%の生乳を原料とする「さけるチーズ」を、  
「味増漬け」(漬物製造企業(株)たむらや大樹工場で加工)  
にした後、宇宙食に使われることの多い  
「フリーズドライ」した食品です。

350円(税込)

プレーン味      スモーク味

十勝 大樹町

企画・販売:大樹チーズ&サーモングルメ地域活性化協議会

- 札幌国際芸術祭2014  
(札幌市資料館会場のSIAFカフェ)  
にてテスト販売が実現
- 「スペースチーズ」に  
名前も決まり、チラシも  
完成！いざ販売！

ご当地宇宙食の開発エピソード

**失敗談**  
**～その3～**

## 失敗談～その3～



- 予定を大幅に下回る  
売れ行き・・・。
- カフェの運営元の宮田屋珈  
琲さんの各店舗でも販売  
していただくも・・・。
- 賞味期限“2週間”の壁

それでも挫けずに・・・

- **地元（道の駅コスモール大樹）でもテスト販売開始しました！**  
【9/6～9/28】
- **オータムフェストのブース（大樹チーズサーモン丼）でも販売します！**  
【第1期：9/12～9/16、第3期：9/23～9/28】
- **賞味期限を伸ばします！**

～最後に～

## 協議会としての今後の取組

### ■チーズサーモン丼

- ・商品力、OMOTENASHI力の向上
- ・引き続きイベントに積極参戦
- ・ベストセラーより、ロングセラー

### ■スペースチーズ（宇宙食プロジェクト）

- ・高速道路開通のタイミング（H26年度末に忠類大樹ICまで開通予定）で「ご当地土産」化
- ・JAXAの「宇宙日本食」への認定

### ■その他

- ・ご当地カクテル？



## 我々のスタンス

**一、失敗をしても、めげずにやる。**

**一、夢は大きく。歩みは小さく。**

**一、「地域バカ」になれ。**

ご清聴ありがとうございました！

本日の発表スライドは、公式HPに公開します。

FBページにも  お願いします！

【公式HP】

<http://taiki-cheese-salmon.jimdo.com/>



【FBページ】

<http://www.facebook.com/taiki.cheese.salmon>



大樹チーズ&サーモン

検索